懷舊之連歌

[illegible]

懐紙之連歌

夕立の雲の峯より出て
雲かくす夏秋の月嶺
かゝ梅を[illegible]
[illegible]
[illegible]

花おつる深山の苔のしたもみち
ちらぬかげもとめてもみる
ちりぬるかぜのなごりをば
ものいふこえのうぐひすの
ねぐらをたてる鶴ぶくろ
風をいとふ牛の歩みの
かぎりなき雲の袖ぶち
ぬきてゐる鶯の
月にうかれ
家をいでぬ人
秋の園梅
ちりて
後はつくしの
花
梅
ちりてのこる
梅
ちりぬるかぜ
ふりのこす
梅
ちりぬる
梅
ちりぬる
梅
ちりぬる

[illegible]
[illegible]
[illegible]

かせてこそ駒のはもあれとみな
ゆさうの明家雲へ清き水のみん
さ秋のこゝろもこの夕べ先ず明
神も月ならぬ月の夢さめて
光はこゝの花のりんも
かはしこゝめの松に木ずゑく
聖ゝ乃ふ亀なれはこゝ
ふら世はう秋に部屋
ゝ秋のはのこゝ
ま秋あひくゝ舟と前の
秋ゝ乃ゝ
遠る者ゝ世ゝ
ゝめゝ
ゝの
ゝ
今ひ乃者ゝ
ゝ
ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

自右清家頌德歌
懷旧之連歌
伊地知文庫
文庫20
105